



2学期 よろしく申し上げます

～始業式講話から～ (一部抜粋)

校長 松尾 了

今日から2学期が始まります。みなさんは充実した夏休みを過ごすことができましたか？

さて、皆さんも知っていると思いますが、今日、9月1日は、「防災の日」です。いまからちょうど100年前、1923年の9月1日に発生した関東大震災にちなんで定められました。最近では、様々なところで自然災害が発生しています。猛暑に集中豪雨、ハワイでの山火事など、自然が猛威をふるい、大変な被害も出ています。このような皆さんの天災、自然災害にさらされている中で私たちが求められる姿勢は、「正しく怖がる」ことだと言われています。

「怖がる」というと、マイナスのイメージを持つ人が多いと思いますが、生き残るためには大切な感情です。怖がるという気持ちは、「危険な状況を察知、予想できる」からこそ、「怖い」と感じるのです。危険なことや良くない結果となるようなことを回避するために、甘く見ない、軽く考えない、謙虚になるという意味で「正しく怖がる」ことは必要です。ですが、相手の正体や状況を適切に見極めずに、必要以上に怖がることはパニックや風評被害などといった別の危険をもたらしかねません。

逆に「私は怖いもの知らずだ！怖いものなんてない！」という人はどうでしょうか？勇ましく勇氣あるように見えますが、私は勇氣がある人とは思いません。むしろ、なにも考えずに危険なところへ自ら進んで飛び込むような「無謀な人」ではないかと思います。本当の勇氣というのは「怖さ」を知っていて、その怖さを感じつつも、正しい知識を持ち、状況を冷静に見極め、想像力を働かせて対処し

ていく方法を考えながら行動できることが、真の勇氣ある行動だと思います。

言い換えれば、「正しく怖がることができる人」が勇氣ある行動ができる人だと思うのです。

このように考えると、困難なことを乗り越えるために「正しく怖がり、行動できる」ことは、災害だけでなく、勉強でも、スポーツでも、人間関係でも何にでも当てはめることができます。

2学期はたくさんの行事があります。1年間の中で皆さんがもっとも成長できる時期です。そして成長するときには、困難な状況がつきものです。

困難な状況に直面したら、この「正しく怖がる」という言葉を心に留め、知識と知恵をフルに生かし、自分の力を精一杯伸ばしてほしいと思います。皆さんが、2学期を実り多い学期にすることができるよう願っていますし、応援しています。今学期も元気に頑張りましょう。



～ 保護者の皆様へ ～

平素より、本校の教育活動へのご理解ご協力をいただきありがとうございます。2学期が始まり天中生の活気が校内にもどってきました。お子さまの夏休み中の生活リズムはいかがでしたでしょうか？9月4日から早速、通常授業となりました。そして生徒会選挙、AKA（小中一貫）の取組、9月30日には土曜公開授業と、9月当初から様々な取組があります。ご家庭で何かお子さまの様子が気になられた方は、遠慮なく各担当へご相談ください。2学期もどうぞよろしくお願いたします。

9月1日 始業式

38日の夏休みが終わり、新学期がスタートしました。異例の暑さが続いた今年の夏でしたが、天沼中学校では大きな事故もなく、9月1日の始業式を迎えることができました。夏休みの間、天中生は部活動や学習に取り組んだり、広島平和学習や海外派遣に参加したり、他にも様々なこの夏にしか味わえない体験をしたとしおりや生徒の声を通して知ることができました。始業式を迎えるにあたっての、各ご家庭でのご理解ご協力に感謝いたします。



学校でも、四者研修会や教員による校内整備、廊下・教室のワックスがけ、教員研修など様々な取組がありました。夏休み前後の取組について以下に紹介します。

四者（保護者・CS・支援本部・教員）合同研修会 7/24

今年度も四者が集まる合同研修会が開催されました。東京学芸大学講師の岩崎美奈子先生を講師として「思春期の子どもの理解と対応～子どもの自己肯定感をはぐくむために」をテーマに研修を行いました。思春期の子どもへの声かけを工夫することや話せる相手がいることの大切さ、周囲の環境が影響することを学びました。話し合いが活発に行われて、四者が連携して子どもを育てているということを実感した会になりました。



夏休み学習教室・自学自習教室 7/25～27

今年度は、「基礎基本」を学ぶ夏休み学習教室と、主体的に学習する自学自習教室を開催しました。

基礎基本コースでは、本校の元主幹教諭の川原龍介先生、河西雅宣先生と英語科の斉藤京子先生に国数英の丁寧な指導をお願いしました。また、自学自習教室では、職場体験のパワーポイント作成や夏休みの宿題に取り組む生徒、受験勉強に取り組む3年生の姿が見受けられました。また、松尾校長先生による「学習計画はどう立てるか講座」も昨年に引き続き行いました。



各学級オンライン学活 8/25

今年も、8月25日にオンライン学活を行いました。リモートでの活動に戸惑う生徒もいましたが、この経験を生かして、積極的に活用できるようにしていきましょう。先生方も久しぶりに生徒の顔が見られると嬉しそうでした。部活動を行っている生徒は教室でオンラインに参加し、久しぶりの再開を楽しんでいました。



相手に伝わる話し方講座 8/31

夏休み最後の日にはフリーアナウンサーの谷原博子さんを講師に招き、教職員対象に「相手に伝わる話し方講座」を行いました。アナウンサーが視聴者に情報を伝えるときにどのようなことを意識しているかや話のまとめ方についての講義、3人1組での1分間トークなどに取り組み、教職員の話す力の向上を目指しました。



各家庭で話し合った SNS ルール

夏休みのしおりより、各家庭の SNS ルールを紹介します。(一部抜粋)

1 学年

- ・メリハリをつけて利用する
- ・自分の部屋では使わない
- ・課金をしない
- ・現在のルールを守りながら、やることを終わらせてからやる
- ・アプリは許可をもらって入れる
- ・スマホは 22 時まで
- ・LINE は仲の良い人、顔を知っている人としてしか使わない
- ・自分や他人のプライバシーに関わる内容や写真を送らない
- ・スマホ利用は 21 時まで
- ・相手が読んだときにどう感じるか、必ず読み返してから送信する

2 学年

- ・勝手にアプリを入れない
- ・自室にスマホを持ち込まない
- ・勝手にパスワードを変えない
- ・使用は 3 時間まで
- ・深夜は使わない
- ・1 日に SNS を使う時間を決める
- ・22 時以降はスマホを見ない
- ・知らない人と連絡をとらない
- ・課金をしない
- ・寝室にスマホを持っていかない
- ・他人の写真を送らない
- ・ネットで人のことを話さない
- ・自分や他者の個人情報をおせない

3 学年

- ・知らない人と連絡しない
- ・夜の使用は 22 時まで
- ・スタンプ連打をしない
- ・自撮りを送らない
- ・「ながら」をしない
- ・家族のいるときはできるだけやらない
- ・写真拡散×
- ・勉強するときは机や部屋にスマホを置かない
- ・スマホゲームやゲーム機は受験期間中禁止
- ・フィルター解除を狙うことを禁ずる
- ・SNS の活動は親の承認の範囲で行う

皆さん、家庭でのルールを話し合い、改めてインターネットを使い方について考えてくれました。ルールを守り、安全・安心に SNS を使用しましょう。

夏休み中の生徒の活動報告

○中学生海外留学派遣事業 8 月 11 日～20 日 2 年派遣生徒

僕はこの夏休みに杉並区海外留学事業の派遣生としてオーストラリアに行きました。この事業では杉並区で選ばれた生徒で 4 回の事前学習会を通して、留学に必要な知識を身に付けます。現地では自らが設定した課題の解決に向けた学習を行い、海外での生活や現地の人々とのコミュニケーション力など、グローバル社会の中で活躍するために必要な能力の形成を目指していきます。現地に行って最初はやはり不安が大きく、ホストファミリーへの挨拶もすべて飛んでしまうほど緊張していました。しかし、ホストファミリーはとても温かく、ゴーカートやオペラハウスに連れて行ってくれたり、日本にも興味を持っていただき、たくさん話すことができました。学校でも「こんにちは！」と話しかけてくれてとてもフレンドリーだなと感じました。できた友達と一緒にスーパーマーケットで飲んだり食べたりしてかけがえのない思い出を作ることができました。文化の違いもとても印象的でした。学校はいつも 15 時に終わり、部活動はなく、休み時間は危険なこと以外はお菓子を食べてもゲームをしても何か持ち込んで遊んでも許されます。むしろ先生たちがお菓子を作って持ってきたこともありました。服装も個性的で誰もいじらず、個性を尊重する雰囲気が感じられました。

このようなかけがえのない思い出を作れたのはオーストラリアの人々の温かさのおかげです。感謝の気持ちを自分の能力向上につなげられるように努力していきます。そして、これから事後学習があるので気を抜かないように頑張っていきたいと思います。

○広島平和学習中学生派遣事業 8月5日～7日 2年派遣生徒

私は広島で戦争の悲惨さ、平和の大切さを学びました。特にそれを感じたのは、初日にヒロシマ青少年平和の集いに参加し、被爆者の方のお話を聞いたときです。お話のなかで「父は大やけどを負い、全身が真っ黒になってめだまが飛び出ているように見えた」ということを聞き、「もしもそれが自分の父親だったら……。」と考えたとき、今まで何となくの認識だった戦争がリアルに感じられました。

広島で感じたことを忘れずに今後も過ごしていきたいです。

○その他の活動

- ・硬式テニス部 個人男子 第3ブロック大会ベスト8 東京都中学校新人大会（都大会）出場
- ・ソフトテニス部 女子団体 東京都中学校選手権大会（都大会）出場
- ・華道部 個人女子 小原流 学生いけばな協議会 南関東地区大会 優秀賞
- ・杉並区総合体育大会水泳（個人参加） 個人男子 50mバタフライ第3位
100m 背泳ぎ 第3位
- ・新体操（外部） 個人男子 第12回東京ジュニア男子新体操選手権大会 総合第7位 関東大会出場
男子団体 同大会 優勝 関東大会出場
- ・ダブルダッチ（外部）「Zenith」 ダブルダッチコンテストワールド2023（世界大会）
ジュニア・パフォーマンス部門 優勝

※【東京都教育委員会児童・生徒等表彰】の推薦について

- ・東京都教育委員会による表彰です。
- ・表彰の対象者は「地道な活動を継続的に行い、他の児童・生徒等の範となる者」や「当該児童・生徒等が自ら学び考え行動した活動が契機となり、その効果が波及し、他の児童・生徒等の具体的な行動や取組に良い影響を与えた者」です。ただし教育課程外の活動が対象となります。
- ・過去の表彰対象の例としては、学校外の継続した活動（クラブチームや習い事など）において、全国大会等で入賞するとともに、豊かな人間性の向上や努力の過程等が認められた生徒が受賞しています。
※表彰対象となる可能性があり、表彰の推薦を希望する方は、9月22日（金）までに、活動の状況等が分かる資料（コピー）を添えて副校長へご相談ください。

ボランティアの募集について

生徒募集

○天沼小学校地域子どもまつり（名前募集中）11月18日（土）

ステージ部門出場者→3年生がダンスで参加してくれるそうです。頑張ってください。

運営ボランティア（10名ほど）→レスキュー隊から1・2年生8名が手をあげてくれました。まだ、参加募集中です。

○ふれあい運動会中学生ボランティア 10月7日（土）9:00～12:00

詳しくは配布したプリントを参照にしてください。皆さんの積極的な協力を期待しています。

○赤い羽根募金ボランティア 10月2日（月）16:00～

朝礼で生徒会が説明したボランティアです。生徒会からのプリントを参照にしてください。

保護者の皆様へ

○9月29日より、後期「ことだま百選」がスタートします。朝学習の8:30～40の間に生徒のことだま暗唱・朗読を聞きとり、スタンプを押す活動に前期はたくさんの保護者の皆様にご協力いただきました。後期も、たくさんの保護者の皆様のご協力を心待ちにしております。

また、9月30日（土）の公開授業への参観もぜひ、ご参加ください。